

令和5年度 島根大学医学部附属病院
子どものこころ診療部研修会

保護者の願

病院と学校の先生に知ってほしい

保護者の思

2023年
8月20日(日)
13:00~15:30

オンライン開催
(Zoomミーティング)



発達障害と

15:00~15:30

第二部：事例検討会

事例提供者：飛田 憲彦 先生
(医大前クリニック 院長)

座長・コーディネーター：林田 麻衣子
(医療法人スリーエス 院長・
島根大学医学部附属病院
精神医学講座臨床准教授)

小柳由加里 氏

児童支援事業所ガラバゴス 代表

菊田史子 氏

一般社団法人読み書き配慮 代表

中川信子 氏

子どもの発達支援を考えるS.Tの会 代表

病院と学校の先生に知ってほしい

2023年

8月20日(日)

13:00~15:30

発達障害と

保護者の思い 保護者の願い

オンライン開催
(Zoomミーティング)



発達に気になる子どもを育てるお父さんやお母さんを私たち支援者はどのように支えていけばよいのでしょうか。支援者は子どもの治療や教育に専念するあまり、お父さんやお母さんを置き去りにしてしまったり、お父さんお母さんの反応が芳しくない事に落胆したりすることがあります。本研修会では、発達支援の専門家と当事者の思いと願いを聞き、子どもと保護者の支援の在り方への理解を深めていきます。

第一部 基調講演・情報提供

13:00-14:50



ホームページ



中川 信子 氏

子どもの発達支援を考える ST の会 代表

東京大学在学中に、交通事故の後遺症で失語症になった子どもの家庭教師を引き受けたことをきっかけに言語聴覚士を志し、2002年「子どもの発達支援を考える ST の会」を設立。

発達に気がかりのあるお父さんやお母さんを育てる保護者や園・学校の先生たちに「丁寧な配慮」をプラスした「ふつうの子育て」の大切さとそのためのノウハウが伝わってほしいと、指導や講演活動などを行っている。



ホームページ



菊田 史子 氏

一般社団法人読み書き配慮 代表

学習障害のある息子さんが学習障害への配慮が得られにくかった経験から、2018年に学習障害に特化した「一般社団法人読み書き配慮」を設立。「子どもの困難に向き合う」ということは尊厳に向き合うことでもあると、全国各地の教育委員会主催のセミナーなどに登壇するほか、支援や合理的配慮の事例を収集・紹介する『あるよストーリーバンク®』をホームページにて公開。



YouTube



小柳 由加里 氏

児童支援事業所ガラパゴス 代表

自身も二人の発達障害の子どもを育てる母であり、生きづらさを抱えた子どもたちが行き場を失わないよう、2019年に放課後等デイサービス・ガラパゴスを設立。

診断名や問題行動で語られがちな子どもたちの本来の姿を「理解」し、子どもたちの姿を家庭、学校、医療機関へ伝え、環境を整えることに力を尽くしている。ガラパゴスのモットーは「どんな子も断らない」である。

第二部 事例検討

15:00-15:30

事例提供者

飛田 憲彦 先生 (医大前クリニック 院長)

座長・コーディネーター

林田 麻衣子 (医療法人スリーエス 院長・島根大学医学部附属病院 精神医学講座臨床准教授)

対象者：子どもの日常生活に関わる医療、福祉、教育関係者

参加費：無料

申込方法：申込は右記の二次元コードからお申込みください

※締め切り 8月13日(日) 17時まで

お願い：研修会後は右記の二次元コードにてアンケートにご協力ください

お申し込みはこちら

